

40302特定貨物自動車運送業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	11~12	駐車スペースに車を停車し、事務所向かうためドアを開けたところ、悪天候の強風によりドアが急に開き、開いたと同時に車外へ転落した。	68	1	221	10 ~ 29
2	2017	12	12~13	被災労働者が運転していたトレーラーのトレーラーヘッドが路上で故障した。会社のトレーラーに救援に来てもらい、故障車をトレーラーの荷台に載せて、その運転席から降りるときにステップから足を踏み外し転落した（地面からの高さ約2m）。その際に肘を打撲し、左肘頭骨折、左鎖骨部打撲を負った。	70	1	221	10 ~ 29
3	2017	12	14~15	仕分作業中、ラック上段の縁を左手で掴み、補助ステップに左足を乗せたときに足首を捻り、落下して転倒した。最上段の製品を抜き取ろうとして片手・片足の状態になり、自重の負荷により左足関節の内反が強制されて転倒したため、自立困難な負傷状態（左足関節捻挫）となった。	22	1	391	100 ~ 299
4	2017	12	13~14	鉄骨を積み込み中、リン木を片手に持ち、トラック荷台に積んでいた2段目の鉄骨の梁（約7m×40cm×20cm、350kg）に手を掛けて登ろうとした際、梁が手前に傾きバランスを崩し、足場にしていたトラックあおりに落下し、そのあと地面に左半身から落下した。更にそのあと、梁が一旦トラックのあおりに当たって、本人の右腰に落下してきた。	32	1	521	50 ~ 99
				ホームと荷台に段差があり、荷室に向かい15cm程度の傾斜があ				

5	2017	12	16~17	るため、積み卸し作業は通常2名（本人、現場作業員）で行うこととしていたが、積み込む際に1人で行ったことにより、パレットの車輪が脱輪してバランスを崩したため、支えようとしたが支えきれず、パレットと共に落下し負傷した。	51	1	362	30 ～ 49
6	2017	12	5~6	駐車場で、トラック荷台コンテナの中に入り納品準備後、横ドアから降りる際にステップを踏み外し、落ちていた輪留めの上に足が乗り、転倒して右手で着地したため、右手首を負傷した。	53	1	221	30 ～ 49
7	2017	12	20~21	2tトラックのコンテナから後ろ向きで降りる際、ステップに右足をかけようとしたがかからず、咄嗟に左足で地面についたところ、左足踵を負傷した。	45	3	417	50 ～ 99
8	2017	12	4~5	配送先において作業中、トラックのゲートを上げた際に、車体とゲートの間に右足先端を挟んでしまい負傷した。 上降装置のゲートを使用する際に、ゲート①の位置からゲート②へ上昇させた時に被災した。	29	7	221	10 ～ 29
9	2017	12	8~9	交差点にてレンタカーを回送中（業務）、凍結路面にハンドルを取られスリップし中央分離帯に衝突した事故である。	54	17	221	30 ～ 49
10	2017	11	11~12	構内において、トラックの荷台から降りる際に、キャビン横の手摺りからサイドバンパーへと足場をつたって降りていて、高さ60cm程のサイドバンパーに左足を掛けていたが、左足が狭まり抜けなくなってしまったためバランスを崩して転倒し、両手をついた時に左手に負荷がかかり左肘を負傷してしまった。	45	1	221	10 ～ 29
11	2017	11	8~9	片側2車線の道路のうち、高速を降りようとしている車で走行車線が渋滞しており、先方の車両は渋滞の先頭に割り込もうと試みた。しかし割り込むには十分なスペースが無く本線に戻った。その際、側方の確認を怠って急なハンドル操作で追い越し車線まで車線変更してきた事で、当方車両の左側部に衝突し	35	17	221	30 ～ 49

				た。				
12	2017	11	12～ 13	ダンプの荷台で作業して梯子階段を下りて地面のコンクリートの段を踏み外して、足首を捻って骨折した。	58	19	417	1～ 9
13	2017	11	13～ 14	倉庫内において仕分作業を行っていた。作業台にある帳票を取りに行こうと作業台の手前で歩行を停止しようとした時、靴裏が滑り易かったため滑りそうになり両足を踏ん張った際、背中に痛みを感じた。	40	19	921	100 ～ 299
14	2017	11	14～ 15	倉庫内においてピッキング作業をしていた、作業開始2時間後、棚の一番下にある商品を取るため屈んだ際、左膝に痛みを感じた。	20	19	921	100 ～ 299
15	2017	11	15～ 16	荷主構内で製品をトラックに積み込みトラック待機所に移動しトラックをとめ、輪留めをかけヘルメットを着用し、あおりを閉めた状態で荷台に上がった。製品をラッシングベルトで固縛している最中に、ラッシングベルトが外れたためバランスを崩し後方に倒れ、あおり（高さ50cm）を乗り越え左肩から地上に落下した。	48	1	221	10 ～ 29
16	2017	11	6～7	工場内のバンバリーミキサーによる混練作業後、排出時のドアに挟まっている物を取り除く際、指が触れ、右手中指・薬指の爪上部より裂傷した。	58	19	379	10 ～ 29
17	2017	11	21～ 22	配送業務で、赤信号で停止していたところ、後方より、相手車に追突され、頸椎を捻挫したものである。負傷後、我慢できる痛みの為、そのまま勤務していたが、首の痛みが増してきたため、休日に実家近くの病院で受診したものである。	69	17	231	1～ 9
18	2017	11	10～ 11	引越荷物を載せた2tトラックの助手席に乗っていて、高速道路にて目的地へ向かう途中、雪が降り路面状況が悪いため、時速50～60kmで走行していたがスリップし、トラックが進行方向左側のガードレールに衝突した後、跳ね返って中央のガードレールにも衝突する事故が起こった。事故直後は全身に特に異変は	26	17	221	10 ～

				なく、事故処理後にトラックを入れ替え、夕方通常通り引越 し作業を完了させた。徐々に首の痛みが強くなってきたもの の、出張が続いたため2日後の病院受診となった。				29
19	2017	10	17～ 18	鉄骨を平台車に積込の作業中、リン木がおれて右側肋骨におれ たリン木があたった。事故現場は、積み込み作業中铁骨の柱を 積み込み作業終了、荷じめ（ワイヤかけ中）にリン木がおれた 事故。肋骨にヒビが入った。	54	6	221	30 ～ 49
20	2017	10	10～ 11	積込に備えて、トレーラ荷台上で尺角（長さ2.5m、厚み 15cm×20cm）を並べかえる作業をしていた。両手で尺角の片 方を抱えて引きずりながら荷台の右端を後ろ向きに歩いていた 処、左足が雨で滑り易くなっていた荷台の鉄フレームにかか り、安全靴が滑り、左足から地上に落下した。	52	1	221	50 ～ 99
21	2017	10	14～ 15	車上の製品（高さ約90cm）から荷台上に下りる時、レインコー トのズボン同士が引っ付いてバランスを崩し、荷台上に転倒 し、背中を打った。その後連絡をもらった者がうずくまってい た被災者を発見し、救急車を要請した。	52	2	911	30 ～ 49
22	2017	10	10～ 11	負傷者は、貨物駅構内の上にてフォークリフト運転者と2名で商 品（返却架台：約400kg）をコンテナへ積み込む作業を開始し た。商品の足元にフォークリフトの爪を差し込み持ち上げた が、商品の重心が高くバランスが悪かったため、負傷者は商品 を支えながら作業を続けた。負傷者が商品から手を離れた際に 商品のバランスが崩れ倒れそうになり、咄嗟に支えようとした が支えきれず商品が落下し下敷きとなり左足を負傷した。	35	5	222	30 ～ 49
23	2017	10	8～9	敷地内にて洗車中、キャビン上部に登って作業後、地上へ降り る際に足を滑らせ転落したもの。大腿部付け根骨折。	50	1	221	1～ 9
24	2017	10	11～	顧客先に、22食分（3バット・1ハッピー、味噌汁缶1個）の弁 当を一度に持ち納品のため、3段のせまい階段を横向きで下りて	30	19	921	10 ～

			12	いる最中に、体勢が崩れたため、持ち直そうと力を入れたところ、腰に激しい痛みを感じ負傷した。					29
25	2017	10	18～ 19	工場出荷場において、パンの仕分作業中にデジタル表示機レーンに出っぴりがあり（修復済）台車と接触し押していた作業員の左足が台車とぶつかり負傷したものである。	44	3	362		100 ～ 299
26	2017	10	1～2	工場では積み込み作業中、軽油のアームを移動させた時に足を滑らせ、ローリーランニングボードとスイングステージの隙間に左足が入り込み負傷した。	47	3	419		10 ～ 29
27	2017	10	3～4	納品先で作業を完了し、ジョロダーを返そうと、片手で持ち上げた際、右腕を痛めた。	47	19	921		100 ～ 299
28	2017	10	8～9	商品自動車(2t)を搬入し、同社敷地内で、ブラシでシャーシを手洗いしていたところ、滑ってバランスを崩し、シャーシの左後部に体がぶつかり、左脇バラをぶつけたものである。	70	3	221		1～ 9
29	2017	9	16～ 17	工場の製図ベビー断裁機で、当日最後のロットのセットを開始した、当該ロットの材料を二つ割にする作業で、セットが終わり試験通紙を行うために1枚の材料に左手をのせてフィードロールに送り込もうとして、材料と一緒に左手をフィードロールに巻き込まれた。被災者はすぐに自分の右手で非常停止ボタンを押して機械を止め、製造メンバーが安全カバーを外しバールでフィードロールを開けて被災者を救出した。	52	7	169		30 ～ 49
30	2017	9	9～ 10	敷地内で、木材の荷降ろし作業の準備のため荷物を支えていたラッシングベルトをはずした直後に積荷の丸太が1本頭上に落下して来た、その場で、後ろに倒れた。	57	4	522		1～ 9
31	2017	9	15～ 16	ロジ3階に到着し、接車場所を確認するため8トン車両から降りようとした時、雨で車両乗り降り用のステップが濡れていたため、足が滑り右手から地面に落下し、右手を負傷したものである。	61	1	221		100 ～ 299

32	2017	9	10～ 11	移動式クレーンを用いて、船殻部材の積み下ろし作業を行っていた、トラックにロンジ材を積み込んだ後、被災者が補巻きを解き、クレーン運転士に指示をして補巻きをクレーン上部に戻していた所、主巻きにかけていたワイヤー4本が被災者の頭上に落下して受傷した。	45	4	372	10 ～ 29
33	2017	9	8～9	配達先工場入庫前待機中、荷卸し準備の為、荷台（平ボディー）のシートを外す作業及び積荷の確認を行っていた。シートの端が積荷の下に敷かれていた為、荷台側面とガッチャで固定されている後部アオリを倒す必要があり、一旦ガッチャをゆるめた。シート外し作業を終え、積荷状況確認の為、後部アオリに乗った所、ガッチャが外れ地面に落下、両足で着地するも腰を圧迫してしまい負傷した。	58	1	221	10 ～ 29
34	2017	9	11～ 12	得意先において、ガスボンベを据え付けるため、まわして移動させていたところ、草地において、草に足を滑らせバランスをくずして、右足首をひねって骨折した。	44	19	611	30 ～ 49
35	2017	9	11～ 12	得意先の依頼で船橋港の荷扱い先で積み置きする為に入り、運転席右側の荷台あおりを下ろし、自分は後から降りようと左足を後部バンパーに掛けて、そのあおりに手を掛けて降りた時、助手席左側のあおりを朝の荷下し現場の職人の方があおり止めを掛けてくれたと思いこみ、自分の右足をバンパーに掛けて降りようとしたら、そのまま後部あおりごと落ち、強打した。	55	1	221	10 ～ 29
36	2017	8	11～ 12	荷主先にてコンテナ内でパレットに積み付け中、コンテナ内の残りの製品番号が見える側で確認しようとしたとき、コンテナと架台の隙間に落下して肋骨を骨折した。	56	1	221	10 ～ 29
37	2017	8	17～ 18	鋼材をトラックに積込後、埠頭内本社車庫に帰庫し、荷締ワイヤーの整理をするため、荷台に上がり、積荷の鋼材の前部で（キャビンとの間は約70cm）、ワイヤーを左手に持ち引き上げようと後方に引いたとき、積荷の鋼材に左肘が当たり負傷し	36	3	521	50 ～ 99

				た。				
38	2017	8	11～ 12	郵便局に向かうため、小学校前交差点を通過後、渋滞により前車両が減速停車をしたため、当方車両も減速を行ったとき、後方の相手車両が追突し、首及び胸、背中周辺を痛めた。	43	17	231	50 ～ 99
39	2017	8	16～ 17	貨物トラックにて、営業所に搬送してきた商品を降ろし終えて、トラックに戻る途中、地表面のアスファルトが大きく割れている箇所があり、その割れ目に足を取られ捻って、負傷したものである。	42	19	417	10 ～ 29
40	2017	8	11～ 12	シート掛けをしていた際に、ゴムが切れて後向きに倒れた。荷台から落ちたものではなく、地面に立ってシートに付いているゴムを引っ張っていたところ、ゴムが切れてしまい、後向けに倒れたものである。その際、ヘルメットを装着していたので頭部への重篤な負傷はなかったが、頸部を負傷したとのことである。	55	1	221	1～ 9
41	2017	8	16～ 17	被災者は、ダンプで浚渫工を運搬完了後、作業場となる敷地内で、ダンプについた土をエンジン式高圧洗浄機で洗浄していた。左側の洗浄を終え、上げているベッセル下に洗浄機ノズルを置き、反対側に回って引っ張ろうとしたところ、何かに引っ掛かり、引っ張れなかったので、後輪タイヤに上がって思いきり引っ張ったところ、反動で後方に倒れ、タイヤ上から転落した。	70	1	221	1～ 9
42	2017	8	8～9	中古車オークション会場構内で、キャリアカーから商品車の荷降ろし作業を行う際、台車上を右側から左側へ渡ろうとしたとき、ワイヤーに足が引っ掛かり転倒した。その際、右膝を台車で強打したものである。	46	2	221	30 ～ 49
43	2017	8	9～ 10	納品先にて、3段積ドラム荷卸しの際に、ドラム缶を背にしているとき、一番上（3段目）のドラム缶が被災者の上に落ち、ドラ	42	4	611	10 ～

				ム缶とともに荷台から落ちた。				29
44	2017	8	18~ 19	空パレットを整理整頓中、床のスベリ止め用凸凹にパレットの車輪が引っかかり、パレットが倒れそうになったため、手で止めようとした。その際に無理な体勢で踏んばったため、右足大腿部裏側を痛めた。	59	19	921	30 ~ 49
45	2017	8	10~ 11	コンテナ内で客先パレットへ荷物（木材）の乗せ替えを終えソフトマンガーフォークリフトを後退させたところ、荷物を載せた木パレットが割れ、次の荷卸準備をしていた作業員の足に、崩れた荷物が落下した事故である。	27	5	222	30 ~ 49
46	2017	8	13~ 14	倉庫内にて、フォークリフトを充電場所に保管するため、後進にて進行し、停止させようとブレーキをかけた時、スリップし壁面に衝突。災害発生時、倉庫内の湿度は高く、床面に水滴が付着し滑りやすい状態だったが、進行方向の安全確認を怠り走行時速の出し過ぎでスリップし、壁面とフォークリフトの間に左足を挟まれた。	24	7	222	100 ~ 299
47	2017	7	9~10	ハウスをつるワイヤーをはずすため、ハウスに脚立をかけて登っていたところ、脚立が滑り、バランスを失って転落し、脊椎を圧迫骨折した。	47	1	371	10 ~ 29
48	2017	7	4~5	工場セメント納入サイロにて、セメントを荷降ろし中、バラ車タンク内にエアを送るラバーホースが破損した。そのため荷降ろしを中断し、タンク内の圧を抜き、工場側配管から排出ホースを徐々に取外した際、工場側配管に詰っていたセメントが逆流し、飛散して両眼を被災、薬傷した。	49	12	221	30 ~ 49
49	2017	7	10~11	4トントラックで鉄工所へ鋼材を納品した後本社へ戻る途中、出口付近に於いて、赤信号で停車していたところ、軽自動車から追突され、頸部及び腰部を負傷した。	62	17	221	30 ~ 49
50	2017	7	5~6	当会社の敷地内で、被災者が大型トラックの荷台に上がり、荷物をパレット積みしていたところ、足を踏み外してバランスを	44	1	221	1~

				崩し、荷台から転倒し、右肩を強打した。				9
51	2017	7	13~14	石油製品を積込する時ローディングアームを片手で引き寄せたため、腕に負担が掛かり右腕を負傷した。	55	19	391	10 ~ 29
52	2017	7	10~11	冷蔵庫内の空クレート整理中、土台パレットの奥にある空クレートを手前に引っばる際、土台パレットへ左足を乗せようとしたところ目測を誤り、左足が届かずバランスを崩しパレット角で左膝を強打した。	32	3	362	100 ~ 299
53	2017	7	9~10	現場でミキサー車の後方ステップから地面に降りた際、段差が3cm程あったため、右足をひねり骨折した。	53	19	221	10 ~ 29
54	2017	7	9~10	ダンプトラックで砂運搬中、片側交互通行停車中、後方から追突事故に、巻き込まれた。	65	17	221	1~ 9
55	2017	7	15~16	荷主様支店において自車の13トンセルフローダーに4tダンプ荷積み終了後、荷台から降りる際に本来ならばセルフの後ろから降りるのだが近道をし高さ70cm位の所から飛び降りて左足首を負傷した。	49	3	417	30 ~ 49
56	2017	7	4~5	有限会社置場敷地内において、敷地内車庫点検作業にダンプ荷台から誤って足を踏みはずし転倒した。	65	1	221	1~ 9
57	2017	7	20~21	車両荷台から郵便物を入れたパレットを引き出し、郵便局へ下ろす業務を行っていた時、荷台に3台並んだパレットの一番右側を引き出そうとしたところ、しっかり積まれておりキツかったので、パレットを揺らしながら強く引き出した瞬間、グキッと音がし、左の肩を捻った状態となり、その時引き出したパレットに左肩を軽くぶつけた。その時は痛みもなくそのまま勤務を続行したが、4~5時間後に痛みが出てきて翌日の夜には眠れない程の強い痛みを感じた。	55	19	362	100 ~ 299

58	2017	6	10～ 11	駐車場で停車したトラックの荷台上で積み荷確認作業をした。 作業終了後、座席に戻るため、積み荷の上からシート載せに飛び移り、運転席天井より、梯子を使い降りようとした。荷台の積み荷から、シート載せに飛び移った時にバランスを崩し、地面に転落した。	61	1	221	10 ～ 29
59	2017	6	2～3	配送勤務を終え、会社の所定の駐車場に車両を止め、バイクに乗り替えて、勤務先の事務所へ戻る途中、夜間で雨が非常に強くなり視界が悪く、進行方向前方にトラックが駐車していることに気付くのが遅れ、トラック後部に衝突し負傷した。	57	17	221	100 ～ 299
60	2017	6	17～ 18	営業所の洗車場において、帰庫後に行う洗車をするために歩いていたら、左足を捻り、骨折した。	31	19	417	50 ～ 99
61	2017	6	6～7	勤務終了後、営業所内シャワー室のシャワーボックスでシャワーを浴び、シャワーボックスから退室した際、シャワーボックス内にシャンプー等を忘れたので、シャワーボックス外から取ろうとした。一歩足を踏み入れるか、しゃがんで取れば良かったのだが、横着をして前屈みで手を伸ばした時に足が滑ってしまい、シャワーボックス扉レールに右足脛をぶつけてしまい受傷した。	57	2	417	100 ～ 299
62	2017	6	11～ 12	ダンプトラックの荷台にのぼり、荷台を清掃している時、荷台に付いた泥に安全靴が滑り、体勢を整えようとした時に膝を捻った。	28	2	221	10 ～ 29
63	2017	5	11～ 12	工場内で生コン車の洗車中に、不安定な姿勢でブラシを使用して生コンを落としていた時にバランスを崩してバンパーより転落し、洗車袋掛けのフックで右側胸部に刺さり負傷した。	72	1	221	10 ～ 29
64	2017	5	11～ 12	定期ゴミ収集中、徒歩移動しながら収集車へゴミを投げ入れた時に、右足踵横に痛みを感じた。そのまま我慢して作業を続けたが、その後、痛みが増した。	25	19	611	50 ～ 99

72	2017	4	8～9	工事現場に2次コンクリート製品（水路壁）重量1.6トンの納入の為に車両荷台から小型移動式クレーンで吊り金具を使用し降す作業中、製品を地上に置き、吊り金具をはずしウチを巻き上したが、吊り金具が完全にはずれていなかったため製品が倒れ、車両の荷台と製品に挟まれた。	55	7	212	50 ～ 99
73	2017	4	9～10	積んだ車輛を降ろす作業中、最後の1台を降ろすため左に移動する際に、いつも通りの慣れで下を見ずに足を移動させたら隙間に足を入れてしまい、転倒して左脛裂傷、右手親指骨折を負った。	45	2	391	10 ～ 29
74	2017	4	23～24	店前路場にて荷積み中に、落とし蓋を開けて商品車を取りに降りようとした時、雨で濡れていたフロアーに左足を滑らせ落とし込み（高さ60cm）に足が嵌まった時に、落とし蓋の突起に手をつき左手を裂傷した。	42	2	221	10 ～ 29
75	2017	4	10～11	自動車学校増設現場にて、バラセメントをタンク車から設置しているタンクに注入している時、セメントがホース内で詰まった。逆流させる為にエアーを抜こうとしてホースを点検していたら、セメントが吹き出て顔や体に付着し目に入った。	49	4	391	10 ～ 29
76	2017	4	11～12	客先構内でトラックより荷降しの際、手を滑らせて20kgの物品（ダンボール）が右足に落下し、安全靴の金具のない部分を受傷した。	63	4	611	10 ～ 29
77	2017	4	20～21	ベルトコンベアの上に、ダンボールが溜まり、詰まりを解消する為、取り出そうと作業を行う際、ベルトコンベアの間で軍手が挟まり、右手人差し指・中指薬指3本が同時に巻き込まれ損傷した。	33	7	224	30 ～ 49
78	2017	4	21～22	荷降ろしを終えてトラックに戻る際に、当センターの階段を下りている時に受傷した（右腓腹筋肉離れ）。	50	19	413	10 ～ 29
				積荷のマテリアルリフト（資材リフト）を運搬返却作業中、ト				

79	2017	4	18~ 19	ラックからフォークリフトで地面にマテリアルリフトを降ろし、車輪がついているため移動させようと動かしたところ、車輪が地面に敷いてあったブラシキの滑り止め部にひっかかり倒れ、地面との間に挟まれて頭、左足等を強打した。	50	5	229	10 ~ 29
80	2017	4	8~9	会社の車庫内にある荷物置場用のボックス（箱、高さ2m巾1.5m長さ3m）に上がり、鉄骨用の架台を取ろうとした際に足を踏み外し、箱の上から地面に落下し、腰を負傷した。	67	1	419	10 ~ 29
81	2017	4	14~ 15	馬の積み直し作業を行っている際に、馬が暴れて接触し、左肩を損傷した。	24	6	719	50 ~ 99
82	2017	3	10~11	営業所にて、4tユニック車のクレーンをリモコン操作し敷鉄板を荷台に積み込んでいた際、敷鉄板に繋いでいたワイヤーが劣化により切れ、敷鉄板が倒れてきたので逃げようとして後方に動いた際、尻もちをつく体勢で転倒し、トラックの荷台に着いた左手首を捻り、腰を荷台で強打した。	49	2	212	10 ~ 29
83	2017	3	8~9	路上において、赤信号のため停車していたところ、後ろから普通乗用車が約80キロのスピードで減速せずに追突してきた。	42	17	231	1~ 9
84	2017	3	15~16	荷卸先の会社でトラックを駐車して降りようとしたところ、横に柱があり20cmくらいしかドアが開かず、そこから出ようとしたら頭を挟んで怪我をした。	36	7	221	10 ~ 29
85	2017	3	19~20	交差点にて赤信号で停車しようとした際、後続車から追突された。当該乗務員は社用車で前方を運転しており、後続車はお客様から預かったマイカーを別の乗務員が運転しており、社内間での事故となった。当日は雨で路面も濡れ、後続車のタイヤがスタッドレスタイヤであったため、制動距離が長くなってしまった。	46	17	231	30 ~ 49
86	2017	3	16~17	トラック荷台より左足から降りたとき、左足ふくらはぎ部分を	57	3	221	1~

				痛めた。				9
87	2017	3	10~11	大型トラックの運転席から降りる際に、持ち手が滑り落下した。災害の原因は、本人が慌てて車を降りようとしたためである。	42	1	221	50 ~ 99
88	2017	3	18~19	事業所倉庫内にて商品のピッキング作業中、パレットに載った商品をカゴ車へ運ぼうとした。パレットに載っている商品を持ち上げた際、足元の確認が不完全であり、商品が載ったパレットに足を引っ掛け、右ひじから倒れこんだ。	65	2	417	100 ~ 299
89	2017	3	9~10	荷下ろし場で荷降ろし準備中に、ホースを繋ごうとホースのネジを締めるため中腰になったとき腰を痛めた。	41	19	921	10 ~ 29
90	2017	3	19~20	社内大型車輛洗車場で大型トラクタヘッドの窓を脚立（高さ約77cm）に乗り洗浄していたところ、脚立が崩れ落下・転倒し、右手と右側胸部を打撲した。	49	1	371	30 ~ 49
91	2017	2	15~16	被災者は補助者と共にトラック荷台への巻取りの積み込みを終え、後部アオリが閉まり切らなかったのをチェーンで固定しようとしていた。被災者はトラック右後部に立ち右手を伸ばしチェーン先のゴムバンドを車体から外そうとし左手は車体後部に掛けていたチェーンに手を添えていた。補助者は後部アオリを支えていたが、その状態で安定すると考え両手を離してトラック右後部側面に回りロープのトサ締めにかかろうとした時アオリが下へ倒れ、被災者は後部アオリのキャッチとチェーンに左手人差し指を挟まれた。	21	7	221	100 ~ 299
92	2017	2	11~12	倉庫内にて、新人作業者に製品の在庫作業の指導を行う為、リフトに乗務させていた。製品が入庫し、その製品の検品作業を教えながら、リフト後方で台帳にチェックをしていた際、リフト作業者が後方を確認せずバックをした為、リフトの後方左車輪と被災者の右足甲が巻き込まれ、裂傷した。	62	7	222	30 ~ 49

93	2017	2	16~17	倉庫内にて、住宅廃材の仕分け作業中、ともに同場所にてリフトに乗務し、パレットの移動を行っていた作業員が後方を良く確認せず、バックした為リフトの左車輪と被災者の右足が接触し、骨折、裂傷した。	67	7	222	30 ~ 49
94	2017	2	14~15	B棟東側入り口付近にて、パレット格納用ラック（90cm×100cm×150cm）（以下逆ネスラックと言う）を三段に積み一段目の上部にフォークリフトの爪を刺し、壁際を部屋の奥へ移動していた。支柱の壁が緩やかに内側に傾斜していることに気が付かず壁際ぎりぎりを前進中、上段で音がしたため左側から確認をした時、上部の逆ネスラックが壁と接触しフォークリフトの屋根に落下した。左に頭を出していたため、接触した。	30	4	222	10 ~ 29
95	2017	2	9~10	トラックから荷物を下ろしている時に、荷台から荷物を持ったまま地面に落ちる時に、左手をついて、脱臼した。ヘルメット、安全靴は着用していた。	41	1	221	30 ~ 49
96	2017	2	10~11	料金所出口付近で小麦粉の配送中に他車両と接触し首を痛めた。	63	17	231	30 ~ 49
97	2017	2	9~10	当営業所内、荷締めレーンにてトレーラーに台木（105mm×105mm×1300mm、杉材、重さ約5kg）を積み込んでいた。5本目を積み込もうと中腰体勢で台木を持ち上げたところ、右腰に激痛が走り、その場で動けなくなった。	37	19	921	50 ~ 99
98	2017	1	11~12	社内の作業場で梱包作業中、3m×2m・重さ80kgの枠組を、2人で持ち上げた時、右胸に痛みを感じた。	38	19	529	30 ~ 49
99	2017	1	12~13	会社の車庫にて、事故車を搬送する為、レッキングアームに事故車を固定し、吊り上げようとしていた。固定ピンが十分固定できていなかったため修復作業をしようとしたところ、固定ピンが外れてしまい、瞬時にアームが真横に飛び、顔面を直撃し	48	6	229	10 ~ 29

				負傷した。なお、ヘルメットは着用していた。				
100	2017	1	10～ 11	顧客先でプロパンガスを交換し、トラックに戻ろうと下り坂（5～6m）を歩いていたところ、坂道が凍結していたため滑って転倒し、左手首を捻り打撲した。	47	2	417	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。